

取材
de
キャッチ

黒崎播磨株式会社

会社前の煉瓦作りの花壇に綺麗に植付けられた花々が、地域の方たちの目を楽しませています。

黒崎播磨株式会社は北九州市八幡西区に本社を構え、耐火物やファインセラミックスの製造などを行い、主力の鉄鋼向け耐火物事業は日本国内トップ、世界第3位の大手企業です。会社を訪問させて頂いた際、建物および外壁に焼き物を使用されており、落ち着いたある素敵な雰囲気には驚かされました。また、会社の周囲の一般歩道周辺も煉瓦を使用した壁面や花壇がありました。煉瓦作りの花壇には、綺麗に花苗が植付けられており、企業全体で地域の活性化に寄与されています。

道路サポーターへは令和元年に加入され、花壇はもちろんのこと、周辺の歩道清掃も定期的に行なっているそうです。

会社の前及び、高架を通り抜けた先の花壇を管理されており、美しく植付けをされていました。デザインはメンバー内で毎回協議をし、過去、育ちの良かった花苗を選び決めています。真夏の水やりや除草など、手間のかかる作業ではありますが、みなさん楽しそうにお話をしてくださいました。困っていることをお聞きしましたところ、植付け後にせっかくの花壇にゴミを捨てられることがとても残念に思われていました。これからパンジーやビオラの花柄摘みが大変な時期を迎えますが、小まめに花柄摘みをするのが、「ストレスの解消」にもなると言われていました。

これからも、花壇の花苗や清掃を通して、自社の皆さんも一緒に、また地域の方たちにも楽しんで頂けるよう頑張っていきたいと話されていました。



取材
de
キャッチ

救護施設ひびき園

自立を目指し、花いっぱいの花壇と地域の方々に楽しんで頂ける憩いの場所になれるよう、皆で頑張っていきたい。

救護施設ひびき園は若松区の若戸大橋を眼下に見下ろせる高台に施設があります。平成17年に設立された救護施設です。救護施設とは、身体や精神に著しい障害のため、日常生活を営むことが困難な方が入所され生活保護法により健康で安全に生活して頂く施設のことです。

施設開設当時、建物周辺は荒地で、入所者の自立支援として農園作業、庭園作業の一環に開墾作業を取り入れ、現在の姿となりました。

農園作業では作物の育成・収穫。庭園作業では階段の作成や季節の花や花木を育てることで地域の方々にも喜ばれるようになりました。

その後、平成22年に「道路サポーター」制度を知り、施設周辺の清掃や市民花壇への花苗の植付けも行いようになりました。

市の花壇に併設して施設の一部に散策路を作成、ベンチの設置し、さらに花壇も充実させ、地域住民の憩いの場所としても楽しんで頂いているそうです。

花の植付け後の作業は、月2回花柄摘みや除草を行い、水やりは毎日順番制で行っているそうです。

冬場はその時の様子に合わせて作業をしているそうです。

作業内容によっては十分な作業が行えず失敗もしてしまいますが、施設の方の力を借りながら自立を目指して行っているそうです。

当初の開墾から10年以上の年月がすぎ、現在では加温施設も併設。施設内にはバナナやドラゴンフルーツ等の実物、ハイビスカスなどが咲き誇っていました。



No.46



北九州市道路サポーターだより

道路を愛するみなさんを応援！

第16回 北九州市道路サポーター 総会開催 3年ぶり!!

令和5年3月7日(火)、小倉北区のAIMビル3階G展示場で、第16回北九州市道路サポーター総会が開催され、多くの方にご参加いただきました。新型コロナウイルスの影響で、総会が開催されるのは3年ぶりということで会場には多くの笑顔が集いました。

第1部

総会は2部構成で、第1部は、主催者を代表して武内市長の挨拶に続いて、国土交通省九州地方整備局小林北九州国道事務所長の挨拶、芳賀代表の挨拶の後、活動10年団体の表彰と国土交通省道路愛護の表彰が行われました。

その後、道路サポーター事務局から近年の道路サポーターの取り組み状況についての報告があり、続いて小林北九州国道事務所長による九州道守活動についての紹介で第1部を終了しました。



今度は皆さんの活動地域へお邪魔するかもしれません…。 ●今回ご紹介した団体へのお問い合わせは、下記事務局まで。

ホームページをご覧ください！

●北九州市道路サポーターのホームページアドレス

<http://www.road-supporter.com/>

北九州市道路サポーター

検索

北九州市道路サポーターのホームページは、知りたいことがすぐわかるような構成とし、活動レポートやニュースなど、「サポーターだより」でご紹介しきれない情報や各区の認定団体さんを掲載しています。「サポーターだより」ともどもご活用ください。

新規団体をご紹介いただける方、清掃や花苗・取材などについてのご相談、お問い合わせは…

[東部事務局(門司区、小倉北区、小倉南区、戸畑区)] NPO法人 ふきの会 Tel.(093)511-6700 担当:古海
[西部事務局(若松区、八幡東区、八幡西区)] NPO法人 西日本環境ネットワーク Tel.(093)513-2651 担当:御園

【企画】 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2丁目16-43 NPO法人 ふきの会 Tel & Fax : (093)511-6700

【発行】 北九州市 建設局 道路部 道路計画課 Tel: (093)582-3888

令和5年3月発行

《近年の道路サポーターに関する取り組み状況》

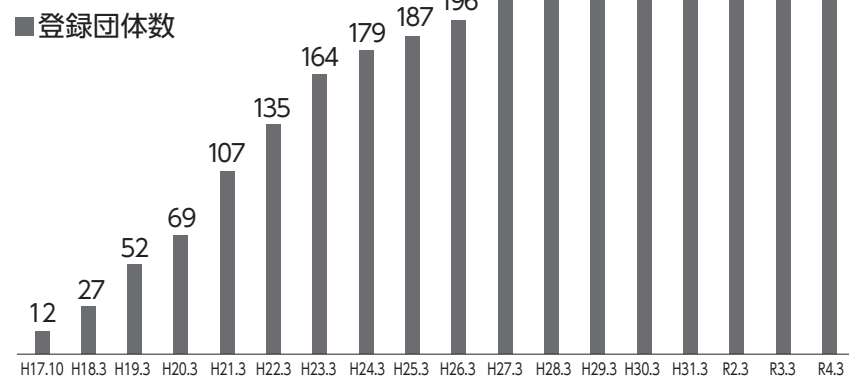
道路サポーターの会事務局を務める北九州市建設局道路計画課竹島課長より、令和3年度までの主な取り組みと、「道路サポーターの会」設置のふりかえり、令和4年度の取り組み状況についての報告がありました。



道路サポーター登録団体の推移

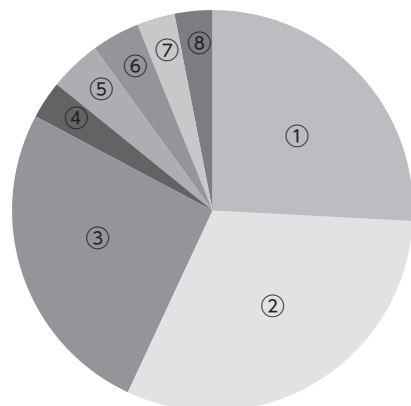
現在約**250**団体が道路サポーターとして活動!!

令和4年3月末で237団体、現在では約250団体を超過しており、活動団体が増えています。



登録団体の内訳

自治会や地域団体、企業の方など多くの皆さんに参加していただけていますが、最近では企業の方々の登録が増加しています。

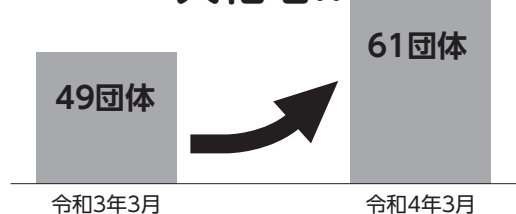


- ① 自治会など 61団体 26%
- ② 地域団体 74団体 31%
- ③ 企業 61団体 26%
- ④ 商店街 3%
- ⑤ 学校 4%
- ⑥ 病院、ケアホームなど 4%
- ⑦ NPO法人 3%
- ⑧ 国、市など 3%

北九州SDGs登録制度における企業が参画可能な取組として登録

企業向けの登録制度「北九州SDGs登録制度」の登録要件の一つである地域課題への取組みの一例として道路サポーター制度を紹介

道路サポーター企業団体 大幅増!!



インフラサポーターのPRについて

北九州市は、道路・公園・河川(インフラ)を愛し、清掃や花植え等のボランティア活動を行う方々を「インフラサポーター=いんさぽ!」と呼び、PR活動を実施しています。



《九州道守活動の紹介》

国土交通省九州地方整備局小林北九州国道事務所長から九州道守活動についての紹介がありました。

道守とは

道守とは広辞苑では「道路の番人」。道をステージとして、清掃、花植え、イベントなど様々な活動を行うこと。道路をみんなの財産と考え、自分の家の前だけ、自分の区域の前だけではなく、みんなのものとして道路を捉え、地域の方と行政が協力して協働で、「個」のためでなく「公」へのボランティアを基本に、地域のためにみんながやろうという気持ちで道守活動を推進していくものです。

活動する中での悩みなどを共有し、情報発信・交流・連携の場として誕生したのが九州道守会議です。活動しているのは個人、団体、NPO、企業、学校等で、九州全体で現在45,575人が活動しています。九州各県に道守会議があり、道守福岡会議、特に「北九州市道路サポーター」は、道守九州会議の中でも一番大きな団体として活動を担っている存在となっています。



他の地域の道守活動

他の地域でも様々な活動が行われており、長崎県ではそれぞれの地域に出向いてみんなで活動をやっている。福岡市では国際マラソンなどの大きなイベントをきっかけにし、みんなで活動することで一体感を醸成する。大分県では、道守以外の日本風景化街道や道の駅などと一緒に活動してみるなど、様々な取り組みが進められています。



みちづくしin北九州2021

一昨年に開催された「みちづくしin北九州2021」では、皆さんの心からのおもてなしが参加者に感動を与え、「北九州は自分たちで地域をよくしていこうという精神が根付いている」などの参加者の声が聞かれました。

今年度は熊本県阿蘇で「みちづくしin阿蘇2022」が開催され、熊本地震からの復興経験を基に、災害が起きた時、災害から復興していく時に、道守としてどういう役割を果たすことができるのかをテーマに意見交換し、事例を紹介し、議論をたたかわせました。来年度のみちづくしは大分県竹田市で開催の予定です。ぜひ、ご参加下さい。



令和4年度の主な取り組み

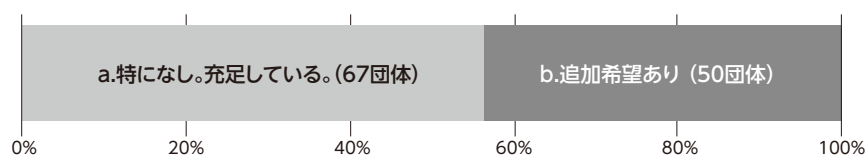
1 制度改善アンケート実施・今後の支援制度の方針検討

道路サポーター団体を対象に、制度の改善に向けてアンケートを実施。令和4年10月時点で登録中の全250団体あまりに配布し、117団体から回答をいただきました。

制度改善アンケートの結果

Q1 追加の配布希望の有無(清掃用具や花苗)

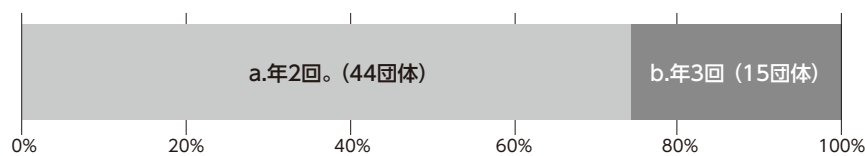
【配布:251団体 回答:117団体】※回答率:46.6%



・長柄のホー
・熊手 小
・カラーコーン
・刈込鋏・鎌 等
数団体ずつ希望があった。

Q2 花苗の配布回数について

【配布:111団体 回答:59団体】※回答率:57.7%



・年2回で良いが、必要な時は補充対応してほしい。
・年3回が良いが、経費削減を考慮し、2回目配布時に3回目を合わせて配布し密に植える。
・または、補充希望者へは、種の配布に変えれば違った楽しさがある。

Q3 道路サポーターの活動を長期に継続させるための取組みや団体数を増加させるための取組みについてのアイデア

● PR方法・PR先

- ・区会長や町内会長会議などで宣伝。
- ・サポーター活動を継続してよかったことの事例を募集し、公開。
- ・清掃活動をアピールし、清掃団体のモチベーションを上げる。

● 道路サポーターの趣旨や考え方

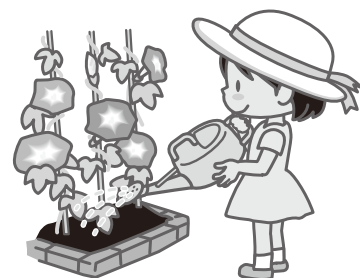
- ・無理をしないこと。地域にこだわらず人の輪を広げる。
- ・道路清掃と花のあるまちは、地域に安心と安全を与える。みんなで住んでいるまちを守る事のPRに努める。

● 各団体の実施例

- ・若い人に声をかけたり、市民センターだより等でお知らせをしている。
- ・花植えと手入れは年長者がするが、市民いっせいまち美化のごみ拾いには、子どもたちにも手伝ってもらっている。

● その他の意見

- ・登録要件(人数)を5人以上とするとよい。(現在10名以上)



改善アンケートを踏まえた今後の方針

《支援用具の追加について》

長柄の三角ホーを支援用具として追加

《花苗配布について》

花苗の配布回数は、年2回とし、不足する花の補充用としては、希望に応じ種を配布。

《団体数を増やす取組みについて》

市政だよりや広報誌を用い、制度を紹介。
自治会等会議でのPR、企業へのPRを実施。
登録要件の見直しについて検討。

2 道路サポーターのPR

エコライフステージ2022

令和4年11月19日(土)～20日(日) 勝山公園大芝生広場で開催されたエコライフステージ2022に参加し、道路サポーターに関するパネル展示やクイズラリーを実施しました。約900名の方にお越しいただき、北九州市道路サポーター制度をPRしました。



宮田町1丁目自治会

小倉北区

小倉北区の西小倉駅からの一本道、木町から小倉南区へと続く広い道路の沿線に宮田町1丁目はあります。

私たちが道路サポーターに参加したのは、都市計画道路9号線という新しい道路ができたことがきっかけでした。車道幅が約30m、幅が5mという素晴らしい歩道が私たちの町内に沿ってできたことが本当に嬉しかった。しかし、平成21年の供用開始から数年経つと、植わっていた街路樹の根もとに雑草が生茂り、皆が勝手にゴミを捨てたり、犬にウンチをさせたりという現状がありました。これをなんとかしたいと考えた時に、沿線の木町地区では歩道花壇に道路サポーターがきれいな花を咲かせていて、これはいいなと思いました。

歩道の街路樹の根もとをきれいにしたい。そのために自治会が中心になって、道路サポーターとして街路樹の根もとに花を植えようということになった。400mのうち、まずは民家がある300m、14か所で実施することにし、平成24年に活動を開始しました。あくまでも、できる人が、できる時に、できるだけのことをやろうと。毎月町内の回覧板で花の植え付けや公園清掃などの参加を呼びかけ、住民の皆さんに周知していきました。

活動を始めて感じたのが花の配置の難しさ。最初は街路樹の根もと全面に2～3種類の花を寄せ植えしようとしたのですが、20人の道路サポーターがまちまちに植えるため、統一感がなくすっきりしない。そんな経験を通して現在は、花の種類を1種類とし、周囲だけに植えるやり方と全面に植えるやり方で統一感があってすがすがしい雰囲気になっています。

総延長は約450m、22か所の街路樹の根もとと花壇2か所の世話をしています。花壇の維持管理で大変なのが散水。散水栓で60ℓ、70ℓのポリバケツに水を汲み、台車3台に積んで水を運ぶ。それでも足りないので軽トラックに100ℓのポリバケツを積んで水をやる。6月から11月にかけて、7～8人で作業するのですが、通算で30日間くらい。暑い中でしんどい作業を続けています。

また、私たち道路サポーターだけでやるのではなく、エリア内で活動している市民花壇の会、公園愛護会などの団体と連携し、協力しあいながら地域の美化に取り組んでいます。通行人から「きれいな花ですね」「ご苦労様です」と声をかけていただくとう本当に嬉しいです。

犬のフン対策として、鳥居の絵を描いた立て札を設置したら効果てきめん、犬のフンがピタッとなくなりました。

立派な道路をつくってもらったことに報いるために必死に頑張っている訳ですが、問題は実働メンバーの後期高齢化の進行です。主力メンバー15名中、80代、90代が6名います。また75歳以上が73%で今一番頭を痛めているのが後継者がなかなかできないことです。70歳以下の人が活動に加わってくれないことに頭を抱えている現状です。



第2部は新規登録団体の紹介と令和4年度道路サポーターの会の幹事及び副幹事の紹介に続いて、団体からの活動報告がありました。

KEYAKI TERRACE YAHATA

八幡東区

KEYAKI TERRACE YAHATAは、2004年にJR八幡駅前地区の市街地再開発事業によって生まれ変わった八幡駅前エリアにおいて、地域住民・大学・民間企業・行政団体などが参画して、この道路サポーターの他、「世代間交流」「多文化交流」などの場づくり、コミュニティづくりの実践などを目的として設立しました。発足したのは、東日本大震災の翌年2012年で、当初は「つながる絆!八幡」実行委員会として活動していたのですが、その後、KEYAKI TERRACE YAHATAと名称を変更しました。

「産」で言えば、企業町内会というカタチで約70団体からなる八幡東田まちづくり連絡会、帆柱ケーブルを運行している会社、スピナ、九電など。「学」は、九州国際大学、九州工業大学、北九州市立大学、西日本工業大学などの他、専門学校の皆さんとも一緒に活動しています。まちづくり団体で産・学・官の連携はよくあると思うのですが、うちの特徴的なところは「民」。地域住民の皆さん、自治会の皆さんにも入っていただき、延べ100団体が連携している団体です。

八幡駅前の国際通りがKEYAKI TERRACE YAHATAの主な活動エリアで、西本町3丁目花壇愛護会、ひびしん、九国大、九電など道路サポーターとして登録している団体と連携しながら、みんなで街を守っています。

主な活動としては植栽活動で、植地帯の植栽・剪定などを大学生、専門学校、福祉施設などの皆さんと連携して実施しています。花を植え、維持管理していくのはけっこう難しい。国際通り自体が1950年代の戦後復興事業で整備されたもので、当時からケヤキが並んでいる通りがあり、そのケヤキは60年、70年とこの地にそびえ立ち続けているものなので、根がすごくてなかなか花が根付かない。いろいろなアドバイスもあり、花に比べて根付きやすいヘデラという常緑の植物を植え、街中でありながら緑の自然豊かな景観が維持できています。

清掃活動については、毎月8日を「やはたの日」として、大学生、専門学校、福祉施設、近隣企業・団体と連携して清掃活動を実施しています。新型コロナウイルスの影響で、一堂に会しての清掃ではなく、それぞれの場所で8日に、できることを、できる人が、できるだけという感じで清掃活動をしています。

他にも、ケヤキの根もとに埋められたケヤキを照らす街灯の清掃活動、八幡駅前イルミネーション事業、歩道利活用事業としてのけやきテラス、けやきマルシェ、やはたアートフォレストなど、住み続けるまちとしてどう歩んでいくべきかを考えながら、様々な活動を行っています。

そういった一つひとつの積み重ねで、住み続けたい街づくりの基本ができればいいと思っています。誰かだけがやるのではなく、そのまちで暮らすひとみんながチームの一員だと感じてもらって、できる人が、できることを、できるだけやっていくことが大事なのではないかと思います。



意見交換会

NPO法人環境ネットワークの藤田氏が進行を務め、道路サポーター活動に関する意見交換会が行われました。

■河内周辺で活動しているが、秋冬は落葉が多く一輪車では運びきれない。落葉を運ぶリヤカーなどが借りられるサポートはないのか。

【環境ネットワーク】

リヤカーについては安全管理、費用の問題から難しいのではないかと。

・区によって違うが、小倉北区の場合は自治連合会に防災用としてリヤカーを1台ずつ配っている。ほとんど使ってはいないが、置いている現状である。八幡東区はどうか分からないが確認してみるのもいいかもしれない。

■公園周りの清掃をしているが、落葉の清掃が大変である。ケヤキ等の落葉については、木の周囲に1mくらいの縁石を作って、その中に落葉を放り込めば腐葉土になるし、肥やしにもなると聞いたが、本当かどうかを知りたい。

【環境ネットワーク】

落ちた葉っぱそのものは使えない。落葉を堆積させ、それが腐食した段階で初めて堆肥、腐葉土になる。木の周りに縁石をあげて、そこに落葉が溜まったら腐葉土になるのではない。

可能であれば、公園の近くに枠を作り、そこに落葉を集めたところに、米糠や油かすなどを少し加えながら攪拌する、水分を与えながらやっていくと、半年から1年でもいい腐葉土ができる。かなり時間がかかることではあるが、ぜひ手間をかけていい腐葉土を作っていただきたい。

■道の清掃で、週に1回程度スイーパー車を早朝に運行していると思う。落葉などが多いため、運転手の方に話したら「道に出しておいてくれ」と言われたが、いつ、何時頃に来るかが分からない。スイーパー車の運行予定を事前に知る方法があれば教えてほしい。また、要望があれば運行回数を増やしてもらえるのかが知りたい。

【北九州国道事務所】

道路には国道、県道、市道があり、それぞれの路線に管理者があり、各組織が業者に発注して清掃や除草作業を行っている。北九州国道事務所では国道2号、3号、10号、201号を管理しているが、八幡、行橋、筑豊に出張所がある。北九州国道事務所または各出張所に問い合わせいただければ、次回はいつ頃という情報はわかると思う。

スイーパー車の運行は全体のバランス、予算を含めて考えているので、回数を増やすことは難しい。ここはちょっと危ないという場所がある場合は、問い合わせてもらえればピンポイントで対応する。

【北九州市道路計画課】

国道の中には北九州市が管理している国道もある。北九州市では道路の清掃は環境局業務課が担当部署となってやっている。限られた予算の中でやっているので回数を増やすのは厳しい現状である。ピンポイントのものについては各区のまちづくり整備課に問い合わせいただくと対応できるものもある。スイーパー車の運行予定についても環境局業務課に問い合わせれば分かると思う。

【環境ネットワーク】

私はNPOとして事務局の手伝いをしているが、別途造園の仕事をしている。造園業の視点から観ると、北九州市は街路樹の維持管理に関して、全国でもトップレベルのことをやっている。北九州市では歩道の幅員をベースにして、この歩道の幅であれば、高さが何m、幅何mまで木を大きくし、その後はその大きさを維持するという考え方に基づいて、計画的に維持管理をしている。

令和4年度新規登録団体

門 司 区	西鉄バス北九州(株) 門司自動車営業所
門 司 区	西鉄バス北九州(株) 恒見自動車営業所
小 倉 北 区	西鉄バス北九州(株) 小倉自動車営業所
戸 畑 区	西鉄バス北九州(株) 戸畑自動車営業所
小 倉 南 区	西鉄バス北九州(株) 中谷自動車営業所
小 倉 南 区	西鉄バス北九州(株) 弥生が丘自動車営業所
八 幡 西 区	西鉄バス北九州(株) 八幡自動車営業所
八 幡 西 区	西鉄バス北九州(株) 香月自動車営業所
八 幡 東 区	道路サポーター桃園
若 松 区	フィード・ワン(株)
八 幡 西 区	一般社団法人 北九州
八 幡 東 区	直方建機北九州営業所
門 司 区	関門製糖株式会社
若 松 区	直方建機若松工場
門 司 区	松ヶ江北校区放課後児童クラブ
八 幡 西 区	有限会社わいど保険
小 倉 南 区	株式会社総合カッター
小 倉 北 区	一般社団法人北九州市安全施設業協会
若 松 区	塩屋だヨ！全員集合
八 幡 東 区	河内さくら公園愛護会
小 倉 南 区	久一建設株式会社
小 倉 北 区	第一生命保険株式会社北九州総合支社
八 幡 東 区	高見三条せせらぎの会
小 倉 北 区	足立山麓を歩こう会
小 倉 北 区	北九州健康友の会小倉西支部
八 幡 西 区	株式会社パコラ
八 幡 東 区	高見鳥居通りの会
八 幡 東 区	前田二丁目北道路サポーター

活動10年団体表彰

平成24年に登録した10団体が、活動10年の表彰を受賞(認定日順)

門 司 区	小森江西校区羽山東町内会
小 倉 北 区	宮田町1丁目自治会
門 司 区	藤松ピーチの会
門 司 区	小森江東グリーンクラブ
八 幡 東 区	西本町3丁目花壇愛護会
八 幡 西 区	鳴水まちづくり協議会
小 倉 北 区	(公財)北九州市どうぶつ公園協会
若 松 区	西日本家電リサイクル株式会社
若 松 区	(株)リサイクルテック
八 幡 西 区	綺麗な花を眺め隊

令和4年度「道路ふれあい月間」表彰受賞団体
(認定日順)

2016年北九州市道路サポーターの会

小 倉 北 区	九州総合サービス(株)北九州支社
小 倉 北 区	魚町サンロード商店街協同組合
門 司 区	風師あいの坂道愛護会
小 倉 北 区	一般社団法人 城野ひとまちネット
小 倉 北 区	公共空間リソース利活用勉強会
八 幡 東 区	KEYAKI TERRACE YAHATA
若 松 区	若松保護区保護司会
門 司 区	門司港レトロ倶楽部
小 倉 北 区	小倉工業高等学校IAC
小 倉 北 区	コスモス会
門 司 区	ニッカウキスキー(株)門司工場
門 司 区	錦まちづくり工房

令和4年度 幹事及び副幹事

区	幹 事	副 幹 事
門 司 区	NPO 法人門司港レトロ花の会 北里 幸良さん	黄金町ビューティフル・クラブ 中井 黄美男さん
小 倉 北 区	木町本町町内会 木谷 直記さん	馬六フラワー会 児玉 國廣さん
小 倉 南 区	長尾校区まちづくり協議会 吉本 保さん	葛原第二道路サポーターの会 則末 富子さん
若 松 区	若松1区青々会 渡邊 清子さん	深町桜会 花村 嘉男さん
八 幡 東 区	枝光北まちづくり協議会 芳賀 文明さん	山路松尾町年長者の会 大平 京子さん
八 幡 西 区	有限会社 本城葬祭 福田 学さん	井樋口町内会 鈴嶋 幸雄さん
戸 畑 区	さやふく環境サポーター 佐々木 憲一郎さん	私たちの未来環境プロジェクト 池本 真一さん

区毎意見交換会

門司区

- 社員だけで登録しているが、近くの住民の方が参加したいと言った時、社員以外の人を加えてもいいのか。
- タバコの吸い殻から大きなものまでが捨てられており、その対策ができないかが会社の課題になっている。
- 道路の異常の通報について
 - 大雨が降ると側溝の排水溝から水が溢れ、車の通行にも危険がある。
 - 道路サポーターは、自分たちが活動すると同時に、道路に関する安全性の面でも指摘することができる。
 - 次回の区会場で、新規に加入した方たちに教えてはどうか。
- 夏場の水道の基本料金の負担について、それはどこに言えばいいのか。

小倉北区

- メンバーの後期高齢化と後継者不足が課題となる中、産・学と連携して活動するKEYAKI TERRACE YAHATA事例は参考になった。
- 87歳になって足も弱り、活動を続けるのが難しくなった。
- ポイントを利用してゴム製手袋をもらいたいの、なぜ数の制限があるのか。
- 土の層が薄く、肥料を入れても花の育ちが悪く水枯れてしまう。

若松区

- 人数制限は10人以上ではなく5人程度にすれば、道路サポーターに加入しやすくなるのではないか。
- 犬猫のフンに困っている。
- 側溝が落葉で埋まってしまい、掃除が大変で1回の清掃でボランティア袋10袋以上、多い時は20袋にもなる。
- 高齢化でメンバーが70代から80代になっており、今後の活動に無理が出てくると思う。
- 区会の参加者を増やすために積極的に声掛けをするなど、招集をかける必要があると思う。
- 20m程度ではなく、もっと長い散水栓のホースがほしい。

八幡東区

- 散水栓用のホースを木に巻き付けて保管しているが、いたずらをされてしまう。ホースを収納するボックスを設置してほしい。
- 大量の落葉について
 - 公園から落ちてくる落葉の清掃は公園愛護会の管轄か、道路サポーターの管轄なのか、管轄をはっきりしてほしい。
 - 大量の落葉で、一輪車で20回～30回往復しているが、リヤカーを借りることはできないか。
 - リヤカー購入に地域環境補助金が使えないかを、活動している自治区会に相談してみるといいと思う。

八幡西区

- 人員確保が難しいため、人数制限を少し緩めてもいいと思う。
- 自治区会に加入しない人が多い。メンバーの高齢化で細々と活動していたが、地域を盛り立てようと若い人が参加してくれたので一緒にやっていきたい。
- 活動時にのぼり旗を立てて作業すればアピールできるのではないか。
- ボランティア袋の強度について
 - □の部分弱くすぐに破れたり、ちぎれてしまう。小さい枝で穴があいてしまう。
 - 企業の広告を入れるなどして強いビニール袋にしたい。
 - 市民センターが出しているゴミ袋は、強く使いやすい。
- 花苗配布が2回になることは残念だが、配布された花苗の種が落ちて、こぼれ種が芽を出す。それらの苗を使用する方法もある。

戸畑区・小倉南区合同

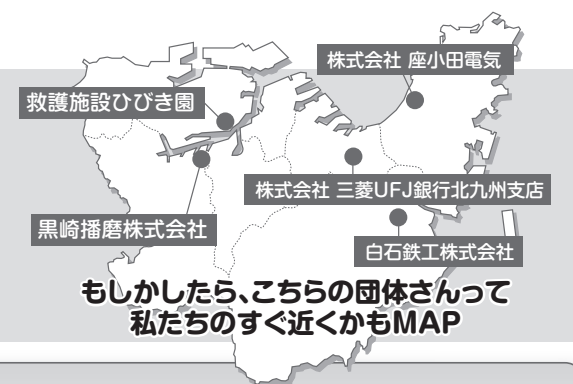
- 高齢化と後継者不足、65歳以下の人が入ってくれない。
- 名簿の人数は多いけれども、実際に活動している人数は限られている。
- 大学生など若い世代に、道路サポーターに触れてもらう機会づくりが必要である。
- ボランティア保険について
 - 名簿に載っていない人に手伝わってもらう場合、ボランティア保険の対象にならないので断った方がいいのか。
 - 車道に出ての作業で事故にあった場合、ボランティア保険は出ないのか。



団体交流掲示板

～この道では、どんな皆さんが活動しているの?～

身近なところで、いきいきと活動を継続している団体の皆さん。
それぞれのちょっとした工夫やアイデアが、
これからの活動のヒントになるかもしれません。



もしかしたら、こちらの団体さんって
私たちのすぐ近くかもMAP

取材
de
キャッチ

株式会社 座小田電気

掃除をすれば道はきれいになる。清掃活動を続けることで地域の方々にお返しをしたい。

座小田電気は、北九州・福岡を中心に電気工事全般を行っている会社です。国道3号線に面した場所に会社があり、この場所で仕事をしているのだから地域に何かお返しができればという想いから、道路をきれいにすることから始めようと道路サポーターに登録しました。メンバーは社長を含む社員13人で、月に一度、清掃活動を続けています。

通りにはスーパーやラーメン店などが並んでいることもあり、ポイ捨てされた菓子袋、爪楊枝、タバコの吸い殻などのゴミが目立ちます。その捨てられたゴミが道路に出て交通事故につながることはないように、歩道や植え込みの中のゴミ、落葉などを丁寧に拾っていきます。

「自転車で通る人や歩いている人が、私たちがゴミを拾う様子を観てポイ捨てをしないでだけでなく、今度はその人たちが自分の家や職場などでもやってみようかと思ってくれたら、まち美化の輪が広がっていくのではないかと思います。気づいたら、みついたらゴミを拾う。みんながそういう意識を持ったら変わると思う。継続してやっていくことで、それが自然な風景になって広がっていくとうれしい」と話してくれました。



取材
de
キャッチ

株式会社 三菱UFJ銀行北九州支店

目標は小倉の街に貢献できる活動を継続すること、活動を通して三菱UFJ銀行のことを知ってもらえたら嬉しい。

小倉北区魚町にある三菱UFJ銀行北九州支店。全国の三菱UFJ銀行の中で、この北九州支店がSDGsを推進するNo1の拠点になると、小倉にある1店舗として地域に貢献したいと令和3年6月に道路サポーターに登録しました。月に1回の清掃活動と自分たちの活動が目に見える花植えにも取り組み、年に2回の花植えを行っています。花植えの場所は多くの人と車が行き交う、平和通り沿いの街路樹の根元。軍手をはめ、街路樹の根元の固い土をほぐしながらパンジーを植えていきました。ここは銀行への通路でもあるため、毎日通る度に花の様子が気になります。街路樹を囲むように色とりどりの花が植えられたことで周辺がパッと明るくなりました。

限られた人数の中で、業務に支障が出ないよう当番制でやりくりしている中で、さらに人数が減るなど厳しい状況ではありますが、今の道路サポーターとしての活動を維持していくことが目標となっています。地元出身者が少なく他県からの異動者として、清掃活動は掃除しながら街を歩くことで、北九州という街をもっと知る時間にもなっています。



取材
de
キャッチ

白石鉄工株式会社

清掃活動で道路のゴミや雑草に気づくようになり、街や道路を観る視点が変わってきた。

白石鉄工株式会社は、LNGタンクなどエネルギーを備蓄するための各種大型タンク類を主に製作している会社です。

道路サポーターに登録して約1年、秋晴れの中、社長を含む10人が参加して本社工場前のある歩道周辺の清掃活動を行いました。歩道の端には植栽が植えられており、植栽の中の手強い雑草を引き抜き、空き缶などのゴミや歩道の落葉などを拾っていきます。

車道と歩道のギリギリの場所で作業する際には、すぐ横を車が通りすぎていくので事故のないように注意しながら作業しているのですが、たとえば【道路サポーター作業中】と書かれた目立つ色のカラーコーンを置いて作業することができれば、安心感もあり道路サポーターのPRにもなるのではないかと感じるようになったそうです。楽しみながら生き生きと清掃活動している白石鉄工の皆さん。「外での清掃活動がリフレッシュになっている」という声や、インドネシアからの技能実習生からは「やってみたら楽しい、きれいになって気持ちが明るくなった」という声も聞かれました。

「今後は社内での活動の輪を広げ、全社的に取り組んでいきたい」と目標に向かって活動を進化させています。

